



通信

HP 学校だより
R6.2.28
NO.41
文責 伊藤美佳



次年度へのバトンタッチ

27日（火）に「交通指導感謝の会」と「交通少年団引継ぎ式」を実施しました。

「交通指導感謝の会」は、駐在さん、交通指導員さん、見守り隊の皆さんが、登下校の安全を見守ってくださっていることに対して全校で感謝の気持ちを伝える会です。子どもたちは事前に、登下校を見守ってくださっている地域の方へ感謝の気持ちを伝える手紙を書きました。当日は、手紙にビオラの鉢植えを添えてお渡しすることができました。コロナ禍では、椅子の上に手紙と鉢植えを置く形でしか感謝の気持ちを表すことができませんでした。しかし、アフターコロナの現在は、子どもたちが言葉を添えて直接お渡しすることができました。「一言添える」、それが最も大切なコミュニケーションだと思います。地域の方々から、「見守りをやっていてよかったと思えるよ。」「家に帰ってじっくりと手紙を読ませてもらうよ。」など、子どもたちに温かい言葉をかけていただきました。多くの方々が見守ってくださるおかげで、子どもたちが安全に登下校できているのだと改めて振り返ることのできた時間でした。

その後、「交通少年団引継ぎ式」を4、5、6年生で行いました。新しい団長、副団長を知っていただきたいと考え、地域の方々にもご来賓としてご参加いただきました。6年生から5年生にバトンが渡される最初の会です。現団長から新団長へと団旗が渡され、5年生がリーダーとして新しい通学団がスタートしました。保護者の皆様、地域の方々に引き続き見守っていただければと思います。よろしく願いいたします。

引継ぎ式の中で、子どもたちに伝えたことがあります。団長、副団長が下校時に必ず伝えてくれること（例えば「止まってくれた運転手さんにありがとうと言おう」のような）があります。その話を聞いて、子どもたちはすぐに「はい」と答えますが、実際に行動している子はあまりいません。自分で「はい」と言ったのなら、ちゃんと行動に移してほしいと伝えました。その姿を下学年の子どもたちが見て、あんな高学年になりたいと「あこがれ」ることでしょう。子どもたちの今後の姿が楽しみです。

6年生 最後の読み聞かせ

28日（水）に「6年生卒業の会」として、最後の読み聞かせがありました。この日のために、「てんとう虫の会」の皆さんが2週にわたって準備、練習をしてくださいました。6年間（とはいえ、感染症予防のためできない時期もありましたが）読み聞かせをしていた最後の会となり、子どもたちにとっては思い出深いものとなりました。

今年度6年生は、1年生への読み聞かせを何回かやってくれました。縦割り班の子に読み聞かせしたいと思う本を自分で選び、マンツーマンで読んでくれました。まだ、ひらがなを習っていない時期に読み聞かせを行ってくれたので、1年生がとても嬉しそうにしていた顔が印象的でした。つい先日、最後の読み聞かせをしてくださいました。和やかな雰囲気の中、読み聞かせと会話を楽しんでいる子どもたちの姿が微笑ましかったです。「てんとう虫の会」の皆さんに読み聞かせの良さを教えていただいたからこそその姿だと思います。ありがとうございました。